



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-9443-2	版	7.00
発行日	2023/04/27	前発行日	2023/03/15

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

スコッチ 超強力接着剤プレミアゴールドスーパー多用途2 透明

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマービジネスグループ
電話番号	042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分4

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H227	引火性液体
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 免疫系。

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

応急措置

P314	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403	換気の良い場所で保管すること。
------	-----------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
変性シリコン	営業秘密	90 - 99
ケイ酸エチル	78-10-4	1.4
シリカ	7631-86-9	1.8
有機スズ化合物	営業秘密	3.5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹼と水で洗淨する。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗淨すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗淨を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物**物質**

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合は、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 熱/火花/裸火/高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
不活性あるいは有害なダスト	7631-86-9	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m3	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	7631-86-9	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m3; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m3	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	7631-86-9	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m3; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	7631-86-9	ACGIH	TWA (吸入粒子) : 10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	7631-86-9	ACGIH	TWA (吸入性粒子) : 3 mg/m3	
ケイ酸エチル	78-10-4	ACGIH	TWA : 10 ppm	
ケイ酸エチル	78-10-4	JSOH OELs	TWA (8時間) : 85 mg/m3 (10	

			ppm)	
--	--	--	------	--

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。 空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形の有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	白色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	70 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	適用しない

引火性（固体、ガス）	適用しない
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	1.06 g/ml
比重	1.06 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	無視できるレベル。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	100,000 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	データはない。
モル重量	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花ないし炎

混触危険物質

水

危険有害な分解物

物質

ホルムアルデヒド

条件

特段の規定はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触すると有害のおそれ。

眼に入った場合

硬化時に放出される蒸気は眼を刺激するおそれがある。症状は発赤、浮腫、痛み、涙及び眼のくもりあるいはかすみ目。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

免疫学的影響：循環免疫細胞数の変化、アレルギー性皮膚反応、アレルギー性呼吸器反応、免疫能の変化などが含まれる。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
有機スズ化合物	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
有機スズ化合物	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	吸入－粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
ケイ酸エチル	皮膚	専門家による	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg

		判断	
ケイ酸エチル	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 10 mg/l
ケイ酸エチル	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 17 mg/l
ケイ酸エチル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,500 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
有機スズ化合物	ウサギ	わずかな刺激
シリカ	ウサギ	刺激性なし
ケイ酸エチル	ウサギ	軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
有機スズ化合物	ウサギ	刺激性なし
シリカ	ウサギ	刺激性なし
ケイ酸エチル	ヒト	中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
有機スズ化合物	マウス	区分に該当しない。
シリカ	ヒト及び 動物	区分に該当しない。
ケイ酸エチル	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
有機スズ化合物	In vitro	変異原性なし
シリカ	In vitro	変異原性なし
ケイ酸エチル	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シリカ	特段の規定は ない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
ケイ酸エチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配
ケイ酸エチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	28 日
ケイ酸エチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ケイ酸エチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
有機スズ化合物	経口摂取	免疫システム	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 10 mg/kg/day	28 日
有機スズ化合物	経口摂取	肝臓 心臓 内分泌系 消化管 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 筋肉 神経系 眼 腎臓 および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	28 日
シリカ	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ケイ酸エチル	吸入した場合	腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0.43 mg/l	28 日
ケイ酸エチル	吸入した場合	内分泌系 造血器系 肝臓 免疫システム 眼	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0.85 mg/l	28 日
ケイ酸エチル	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/day	28 日
ケイ酸エチル	経口摂取	造血器系 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	28 日

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことが

あります。 セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ケイ酸エチル	78-10-4	液状化	実験	3 時間	EC50	>100 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>100 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>245 mg/l
ケイ酸エチル	78-10-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
シリカ	7631-86-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
有機スズ化合物	営業秘密	鯉	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
有機スズ化合物	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
有機スズ化合物	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
有機スズ化合物	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	100 mg/l
有機スズ化合物	営業秘密	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
----	-------	-------	----	-------	------	-------

ケイ酸エチル	78-10-4	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	98 DOC除去%	EC C. 4. A. DOC Die-Away試験
ケイ酸エチル	78-10-4	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	4.4 時間 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
シリカ	7631-86-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
有機スズ化合物	営業秘密	実験 生分解性	29 日	二酸化炭素の発生	12 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
有機スズ化合物	営業秘密	加水分解物生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	2 %BOD/ThOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ケイ酸エチル	78-10-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.18	EC A. 8 Partition Coefficient
シリカ	7631-86-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
有機スズ化合物	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の3）
労働安全衛生法：施行令 18 条の2 名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）
消防法：第四類第三石油類
化管法：第 1 種指定化学物質
労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
ケイ酸エチル	テトラエトキシシラン	該当	該当
シリカ	結晶質シリカ	該当	該当
有機スズ化合物	すず及びその化合物	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
有機スズ化合物	有機スズ化合物	664	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション 14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。
セクション 15：化管法の表 情報修正。
セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。